

第1回

ネーザルハイフロー研究会

～エビデンスに基づく新しいNHF療法の適用とルール作り～

日時 2025年1月18日(土) 13:00～17:00 (受付 12:30～)

会場 東京ミッドタウン八重洲 4階 大会議室 2

参加費 1,000円 <当日受付にてお支払いください>

参加者 医療従事者 (医師、看護師、技師)

申込方法 右記QRコードよりお申し込みください
事前申込制・定員(80名)に達し次第締め切らせていただきます。



プログラム

1

急性期における挿管回避と抜管後のNHF療法

座長：大分大学医学部附属病院 安部 隆三 先生
演者：聖マリアンナ医科大学病院 藤谷 茂樹 先生

2

慢性期における呼吸器疾患のNHF療法

座長：聖カタリナ病院 蝶名林 直彦 先生
演者：名張市立病院 中村 祐基 先生

3

小児におけるNHF療法

座長：東京女子医科大学附属足立医療センター 長谷川 久弥 先生
演者：兵庫県立こども病院 黒澤 寛史 先生

会場 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 4階 大会議室 2

住所 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
※駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご使用ください。

お問い合わせ

Fisher & Paykel Healthcare株式会社
大前／栞原／北條

✉ jpjimukyokunhfstudygroup@fphcare.co.jp

電車でお越しの方

- JR「東京駅」地下直結 (八重洲地下街経由)
- 丸の内線「東京駅」地下直結 (八重洲地下街経由)
- 銀座線「京橋駅」徒歩3分



プログラム詳細

12:30 –	受付開始
13:00 – 13:10	代表世話人挨拶 「ネーザルハイフロー研究会」の目的と目標 聖カタリナ病院 蝶名林 直彦 先生
13:10 – 14:10	急性期における挿管回避と抜管後のNHF療法 座長：大分大学医学部附属病院 安部 隆三 先生 演者：聖マリアンナ医科大学病院 藤谷 茂樹 先生
14:15 – 15:15	慢性期における呼吸器疾患のNHF療法 座長：聖カタリナ病院 蝶名林 直彦 先生 演者：名張市立病院 中村 祐基 先生
15:15 – 15:25	休憩
15:25 – 15:30	製品説明（Fisher & Paykel Healthcare株式会社）
15:30 – 16:30	小児におけるNHF療法 座長：東京女子医科大学附属足立医療センター 長谷川 久弥 先生 演者：兵庫県立こども病院 黒澤 寛史 先生
16:30 – 16:40	本日の総括
16:40 – 16:50	第2回ネーザルハイフロー研究会 当番世話人挨拶 国立循環器病研究センター 竹内 宗之 先生
17:30 –	参加者懇親会（5Fホール）

代表世話人からの挨拶

第1回ネーザルハイフロー研究会の開催を迎えることができ、大変嬉しく思います。皆様のご尽力とご協力のたまものと思い、心から感謝申し上げます。

ネーザルハイフロー（以下NHF）は、既に近年我が国を含め欧米諸国でも使用実績が蓄積されてきており、特に新型コロナウイルス感染症の治療を機に、全世界で急速に普及し、治療効果も多くの文献で証明されつつあります。国内では診療報酬的にも、院内及び在宅での増点・DPCツリー追加・医療看護必要度加算での「人工呼吸と同等の加点」となるなど、酸素療法ではなく、非侵襲的呼吸療法として認められてきています。

しかしながらNHFは、臨床使用におけるガイドンスや一部の診療ガイドラインでの言及はありますが、まだまだ医療者が個人や病棟・病院レベルでルール作りをするにとどまり、その適用について標準化されていないという課題があります。

そこで、記念すべき第1回研究会は「エビデンスに基づく新しいNHF療法の適用とルール作り」というテーマで、3つの演目を用意しました。実際に臨床に携わる医療者がどのような根拠にもとづき治療を行っているかの発表をお聞きいただき、皆さんとディスカッションを行っていただきたいと考えています。ぜひ積極的にご参加ください。さらにNHF単独のガイドラインは必要か？という大きなテーマも、皆さん方が各学会に持ち帰り継続して考えていただくことも願っております。

この研究会が、参加者の皆様にとって有意義な交流と学びの場となり、新たな発見や研究アイデアが生まれることを期待しています。今後も共に成長し発展していけるよう、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

